

## 平成19年度宮古群島病害虫発生予報第2号(5月予報)

### 5月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	30%	30%	40%
平年並	40%	40%	30%
低い(少ない)	30%	30%	30%

(平成19年4月20日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

### 地点別の平年値

要 素	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	24.6	27.4	22.5	209.3	147.6

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

### 5月の発生予報および防除上の注意事項

向こう1か月間に農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

#### 宮古群島

##### 1 さとうきび

##### 黒穂病の防除対策

- a 主に株出し圃場において黒穂病が発生し始め、ピークは4～6月である。
- b 生育初期は発病株の識別が容易で、抜き取り作業もしやすいので、早期発見・早期防除に努める。
- c 胞子の飛散を避けるため、発病株は黒穂(鞭状体)の出現前に抜き取り処分する。
- d 黒穂がみられた場合は、早めに抜き取り処分する。
- e 発病の多い地域では株出しはなるべく避ける。
- f 発病の多い地域では、収穫後更新までの圃場放置が本病の発生源となるため、圃場管理を兼ね、速やかに耕耘(ロータリー、砕土)する。

##### 春植えにおけるメイチュウ類の防除対策

- a 4月のカンシャシンクイハマキ合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの誘殺数は1232頭(前年621頭、平年2187頭)と平年並であった。
- b 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点をおく。
- c 培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤を選定し施用する。

##### サキシマカンシャクシコメツキ(ハリガネムシ)の防除対策

- a 4月の合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの誘殺数は23.8頭(前年12頭、平年48.5頭)とやや少なかった。
- b 更新圃場は速やかに古株などの残渣を処理し、植え付けまでに数回耕耘して幼虫密度の低減を図る。
- c 培土時に他の土壌害虫の防除も兼ねた薬剤を選定し施用する。

## 2 マンゴー

着果～果実肥大期の病害虫防除対策

- a 4月中旬の調査の結果、炭そ病、チャノキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、マンゴーツメハダニの発生が認められた。
- b 炭そ病に罹病した葉・花序等は除去し、施設外へ持ち出し処分する。
- c チャノキイロアザミウマの発生源となる不必要な新葉を除去し、ビニール袋に密閉して持ち出し処分する。
- d チャノキイロアザミウマ、マンゴーツメハダニは水に弱いので、晴れた日に灌水を兼ねて動噴で洗い流すことも密度を下げるのに有効である。
- e この時期から軸腐病も発生しやすいので、施設内の通気をよくするとともに、薬剤による予防に努める。
- f チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達しやすいことから、同系統薬剤の連用を避ける。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



## 沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880、098-886-0227 FAX 098-884-9119
北 部 駐 在	〒905-0012 名護市名護4605-3(農業研究センター名護支所内) TEL 0980-51-1537 FAX 0980-51-1538
宮 古 駐 在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40 TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八 重 山 駐 在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6 TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157